

⚡
R18
Adult Only



DARK TEMPEST
U ACT-05

不安

人々の負の感情集合体である魔女デボネア
その存在の消滅により表面上は
平穏を取り戻したかに見える
異世界セフィーロ

各所で跋扈する新種の魔物、異常現象、
治安の回復の遅れから頻発する野盗の跳梁、
それら負の遺産は、
セフィーロの随所に内包されたままだった

使命を果たした後も光・海・風

三人の魔法騎士たちは、
愛着有る異世界のため、
その持てる力を振るい続けた。

しかし、彼女たち魔法騎士を筆頭として
数多の人々の努力をもつてしても、
セフィーロの大地が負った傷は深く広く、

その復興は順調とは
到底呼びがたいものであった……

恐怖

猜疑

負の螺旋と
繰り返し

より深い混沌の苗床を欲し、
そこに生じる負の感情の連鎖を糧として貪欲に欲するその種子は
己の根をより広く深く世界に巡らす為には大きな障害である
魔法騎士を無力化すべく邪悪な陥穽を仕掛ける。

あ彼女達と親しい召喚師アスコットが
魔法騎士の一人である龍咲海に寄せる特別な好意と
意識下に潜んだその裏返してある征服欲を利用し、
その純粋な悪意を核に受肉させた影：
もう一人のアスコットと呼べる存在である
「トルネオ」は奸計を用いて海を拉致し、
かつてデボネアが潜んだセフィーロの裏側、異空間へと連れ去る。

光・風達仲間のマジックナイトとの連絡の術を絶たれ
魔神セレスの召喚も叫われない異空間で孤立無援の海に襲いかかったのは
トルネオと復活したと思しき魔導師アルシオーネによる苛烈な触手陵辱と蹂躞だった。
海の持つ強く崇高な心の芯を恥辱の破壊槌で折り砕き、
強固な魔法騎士という障壁に穴を穿つべく、
トルネオは更に深い淫獄の泥沼へ海を引き込む。

そして
セフィーロ全土
を侵食する数多の
腐毒種子の一つが
民の不安を糧に
力を蓄え
蠢動をはじめた

セフィーロの裏で過酷な陵辱を加えた海に向け、
トルネオは更なる蹂躞を狙い陵辱の記憶を封じた海を
「表」の世界に存在するとある怪しげな屋敷へと連れ込む。出した
そこで待ち受けていたのは一人の魔導師が
薬を使われ拘束された海に、
裏の空間での記憶を蘇らせたトルネオは二人を残し
嘲笑とともに姿を消したのだった……

あ、やっ…!!
やあっ………っっ!?

はっ…放しなさいよっ…

このっ!
バケモノ
イソギンチャクッ…!!

ケルッ
ケルッ

ケルッ
ケルッ

ケルッ
ケルッ

あの防具って
ちよつと堅苦しい
印象だったからさあ

よくも…
魔法騎士の防具を
こんな恥ずかしい
デザインにつっ!!

そうした方がいと
思っただけけど大正解!

その部屋に…
この部屋に漂ってる
甘い香りの…って…
なんなの…!!

やんーんー♪
やっぱりよく似合うなあー

ボクって
センスあるよねー
ひひ!

ニホンニ
はあッ

ケルッ
ケルッ

あのホルカと名乗った卑劣な呪術師は、わたしの身体を辱めただけに飽き足らず…

下種な戯れに、わたしに魔物と戦うことを強要してきた。

否、強要ではなかった…

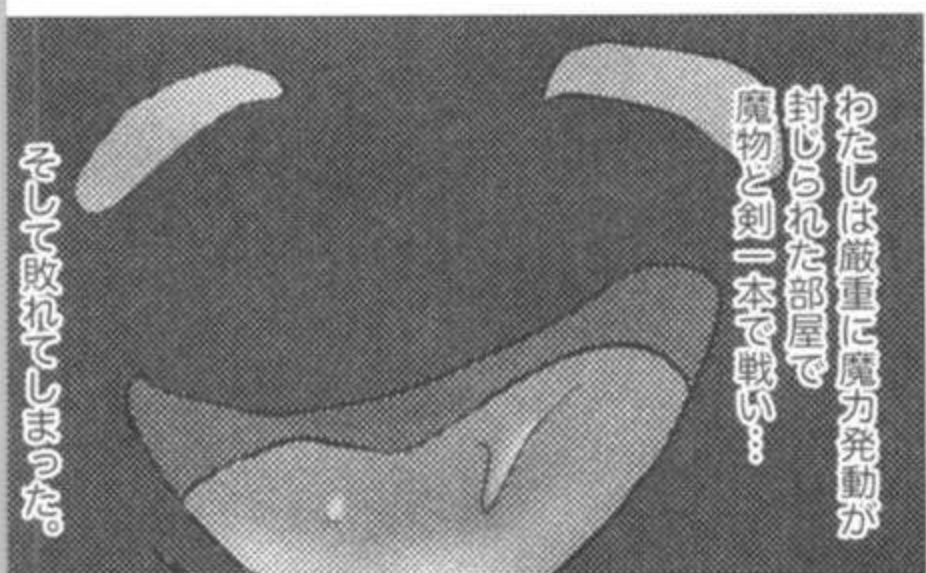
ただ拒絶すれば
付近の村で暴れさせると言い足してきただけ…!!

ヤトカリとイツキンチャクのキメラを思わせる
醜悪な魔物の体内に呑み込まれ、いいように弄はれた…

わたしは嚴重に魔力発動が
封じられた部屋で
魔物と剣一本で戦い…

そして敗れてしまった。

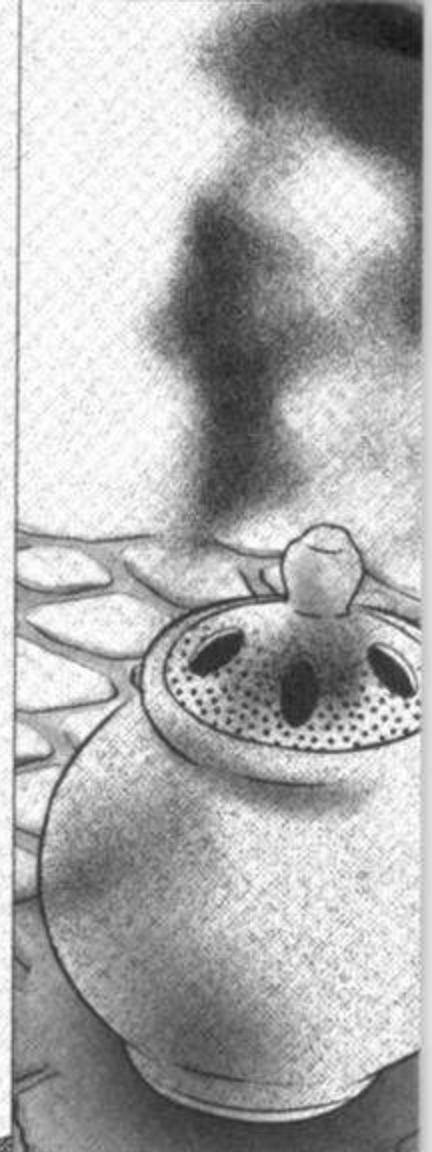
それからどれほど時間が経ったのか…





魔物の体液で又ル又ルになつていた
全身に纏つていた魔法騎士の防具は、
ボルガがどんな手段を用いたのか
卑猥に変貌し：

わたしは…



おぞましい触手群に拘束されて

またあの醜悪な呪術師
ボルガの慰みものにされて…いた…

あーんうう、くうう……ふああつ!!

ぐんぐん

あ、ウミってばまた軽アクメしたでしょ？
全身突っ張って声出さないうようにして
カワイいなあ

んぐっ……
そ、そんな……ア……こ、ことお……!!
なっ……なひ……いい!!

クク……
まだまだ硬いけど、
だいぶ膣壁も
こなれてきたねえウミ……

じゃあボクもそろそろ
一発射精(だ)させてもらおうかなあ……

おん

ボクの家系の優秀な子種を
子宮でたっぷり受け取ってよウミ

じゅじゅ
ぽぽ

全身が火照ってっ
……いえっ、や……灼けるううスーツとの擦れがっ……
あ、熱さをつ、煽つてく……るっ……!!

ゴリゴリ削るようなのが
無くなってきたよ……

ファンっ!
ファンファンファン
ファンファン

ツツツ!!

やあっ……
やめてよお……
んっ……
あああ……
っっ!?

それにさあ、
コレ着ける方が
その格好には似合うしねえ

ち、近寄らないでっ!?

くっ!よくも私の...

あーあ...
ここザーマンで
ベトベトにしちゃったよ
ゴメンねウミ...

いえっ!!
魔法騎士のマントに
そんな汚らしいも.....

のをなすりつけっ!?

ウミってば、
そんなにお気に入りが着けられて
嬉しかったのかな...?
ンフフッ!

んふうツツ!?

でらん

や、やめふえ...
キモチ、わ...るイイ

ウミのおっぱい、
すっごく綺麗な形だし
モミ心地も最高だねえ

あははっ!
やっぱりこれ有る方がいいよ
見えそうで見えない秘密を
暴くみたいで興奮するヨォ

ひひ...
そいつらもすっかり
ウミのマントが
お気に入りでねえ...

ヤメッ...ひぐっ...
りよ、両方っ...摘んじやっ
...離...し...!

ああんツツ!
はあうー...ツツ!!
む、胸ッダメエええええっ!

触手に回復する魔力を吸わせて
私が魔法を使えないようにっ!

いね

あつ、ああつ、あああああ!?

い...いやつ...
そんなつ...わたし...!

あれえ...?

嫌がってた割には
ずいぶん派手に
撒き散らしたじゃないウミ♪
ボクのフィンガーテクニクも
なかなかだろ?

や、やめ...!
これ以上やめて! 触らないでっ!!
あつ...!?
いやああああ!!

フフフ
ずいぶんウミのおまんこ周り
グシヨグシヨになっちゃたねえ♪
よし一回拭いてあげようね♪

ビ

なりんだ、
やっぱり拭いて欲しかったんだね
ココ♪

ビ

ひっ!? いっああつ...

そ、そこはっ...それはっ...
だっ...だ...め...っ!!



はんっ
はんっ

おんやあ〜?
なんだか苦しそう
だねえウミ?
少し楽にしてあげるよ
ヒヒッ!



だから動いちやダメだってばウミ!
ヒヒッ!

いやあ! やめてええ!
離してっ
き、気持ちよくなんかないわっ!!

はっ
はっ

ほうら
ジツとしてよウミい〜
気持ちいいだろう?
ほらほうら



きや、きやあああっ!?



んっ……あっ……
あふっ……やっ……ああんっ!?



クク! キレイな形のおっぱいだあ〜
一生見飽きないよウミ!

ほっ
ほっ



やめてえ!
触らない...でッ...!?

はっ

ふふ、
恥ずかしがらなく
たっ...いいよお

ボクに愛されて悦んでるから乳首
こんなにかちこちに勃たせてるんだろ?!

いっ...お...お...♡



よ、悦んでなんか、
い...いないっ...わよ...!?

卑怯者の
ブヨブヨ肉団子っ!!

へへへ...ひどいなあ...
じゃあ...

ボクに愛するウミが
ずっと気持ち良く悦んでいられる
ようにしてあげるからねえ...



!? んっ...
きゃあっ...あふっ...
...っ...な...に...を、云って...
えっ...まさかっ!?

グッ
グッ
グッ

やっ...
ああああんっ!?



イヒヒッ!
そんな薄けた声だしちゃって
よっぽど気持ちいいんだねえ

ボウウウ...

くああんんん...
ふあああああ...



んあああつ...
ま、またっ...!

ダメッ...

...やめっ...てっ!?!
ふあ...ンンあ...!!



はっんはっ...
ああ...そ、そんなこと...

でもそれってマジックナイトのウミ達
には大事な大事なモノじゃ
なかったっけ?
こんなイケナイことに使っちゃって
いいのかな?ウミ?

ああっ...っぐん...
あつだ、ダメえええ...



あつ...ああつ...あああああ...

や...ヤメッ...ええ
胸っ!胸までっ...えええ

いや、イヤあはああつっ
ダメ、ダメえっ...!!



さあ、おいでウミワ



それじゃあウミワ
ココもブヨブヨかどうか
確かめてみてよ



ズッ



!!

あ〜〜！
やっぱりウミのおまんこ
キュウキュウで最高〜♪

ユサツ
ユサツ
ユサツ

ひひっ！そういえばウミって
このブーツの上からイタズラ
されてもヨガっちゃてたよね〜

くうううっ…
はああう…んうん…!!

どうだいこいつらの口は
ヘンタイ脚フェチ娘のウミには
たまらないでしょ〜♪

ぐちゅっ
ぶちゅっ

うっわ〜っ♪
やっぱり汗とH汁でムレムレだね〜
すっごいニオイだよウミのブーツう

こ、この…恥知らずの、卑怯者っ！

ファンファンフーンツ！

んぐっ…キタキタ♪
あんまりウミのおまんこ
気持ちよすぎで
もう我慢できないから
膣内^はにた〜っぶり
出させてねえ〜!!

いほほ
ぐほほ
ぐほほ

ああああ、ああ、あんあんっ、あんっ、
はあ〜っ!!

へっ…
もうボクら妙な遠慮しあう
必要なんかない
深〜い関係なんだからさあ
こっちもいいだろウミ?

…いや…よっ…!!
ぜ…絶対…にっ…!!

りい…

うふふ美人のウミでも
やっぱり直腸の中は臭いねえ〜

わ…わたしのお尻の匂い…嗅がれてっ…?

ああ、触手汁と蟲汁も
いっぱい入ってる
せいもあつたねえ〜

いほいほ

ンかはっ!?

いほいほ

ちゃーんとお尻の穴も
消毒しないとね♪

ひひ!
ウミのお尻が病気になるたりしたら
かわいそうだからねえ〜

ぐっううう…!!

ほうらっ!
入れるよウミ〜!!!

はあはあはあ
はあはあはあ

いほいほ

いほいほ

ウフフ！
ボクのお姫様はダメなところ
だらけのデリケートな
身体だねえ〜？

ムムム〜

ウミの大好きなコレを
挟み込んであげてるんだからさあ〜
我慢してよイヒヒっ！

あぐううッ？!

ヒヒ！ほーら、
根元までズッポリ入ったじゃないか♪

ぐんぐん
ぬめり

さ、お尻の穴の中を
キレイキレイしようねえ〜

いぎつつつ!!
ぐっ…くっ…ぐ、ああああ…!?

うううッ!!
んぐうううう…ッッ!!!



おヒョオ〜♪
ウミはケツ穴のシメも
極上だねえ〜

かつ…かはっ!
んん…クウウウ!?

ガク
ガク

チツ

ほうら、わかるだろ?
ウミのこれがお尻のなかで
シュルシュル動いてるのがさあ…

シム
シム
シム
シム
シム
シム

んん

お

そんなに可愛くて
エッチな顔見せてくれるウミにご褒美だよ

いひひ…これも
ボクの家の術の応用さあ〜

ほら
これもまた使ってあげるよ
よく見ててネ!

ククッ…こんなモンだねえ
パイプと触手ベッドを
融合させてみました!

マジックナイトもドロドロにしちゃう
気持ちよさ!
…っていうことで宣伝したら
売れるよねきつと〜
ヒヒッ

ウミのお気に入りを入りをダブルだよ〜
気持ちいいかい?

あぁっ…!
ま、またこんな最低な奴に魔法騎士の
証をいよいよに穢されながら
辱められてるのにつ…
わたし、何もできないなんてっ…!!

ぞわっ

あぁあぁあぁ



んぐっ——！
ひっ……おおっ……
やめ、てっ……ふおっ……!?

へへっ……
おまんこの方もこんなに
美味しそうに呑み込ませて
何言ってるんだか♪

おまんこ

いっ

いっ
いっ
いっ

おまんこ
おまんこ

ほーら♪
ほーら♪
ほーら♪

あああああつっ——!!!
そ、そんなに激しくううう

?!



ああふうう!?
こ、壊れ...!
壊れ...るっ...!
あああっ!!!

壊れる...?
何がだいいウミい...?
お尻?
それともおまんこ?

ああ、ここかあ
ブーツ、ベトベトに
なっちゃたねえ
でも気持ちよ
かったろウミ?

んはんあああ!?
そ、そんな、違うう...!
わ、わた...しは、
そんなッとお

!?

いくうううう——つつつ!!!
イツちゃ...ふううううう——つつつ!?



ヒヒ!
なあに...
どこか体が壊れたって
ちゃ...んと治してあげるからさあ
安心して壊れちゃいなウミ

壊れ

ダメ!?
ダメダメダメ——つつつ!!!

絶対それだめ
えええ——つつつ!?

ほらウミ、もっとよくご覧よ
ボクらの愛のメモリーだよ？
いひひ…

マン汁と触手汁でテラテラしてさ？
ヒヒっ！

あっ…あっ！あっ！
やっ…くううっ
いっくううううっっっ！？

あっ…！
ああっ…いや、
いや、こんなのっ…！

ええ…？
そんなに嫌がらなくなつたって
いいダロオ…？

ほらほら…
魔法騎士の防具姿で
アヘアへしてる顔なんか
最高じゃないかあ

あっい、いやあっ
ああん、ああんっ！？

おすまし屋さんのウミの中に
こんなにスケベな根っこが有るなんて
なんか感激だなあ…うヒヒっ！！



こんな気持ちのいいこと
ウミ一人だけで
楽しんでるなんて
よくないと思わないか？



わ…わたし楽しんでなんかっ！

そうだ
ヒカルも呼んでこようよ？
ウミがこれだけ悦んでるところ
見せたら、
すぐ来てくれるよヒッ！



そうだ
ねえウミ？



ひ…光につ…
み、見せ…るっですって!?



うん♪
きつとヒカルも一緒に楽しみたがるよお…
ウミもそっちの方がいいだろ？ヒヒッ

やめてっ！やめなさいっ!!!
そんな事っ絶対に
許さないわっ!!

ええっ？
そんなにボクのポコチンを
独り占めしたいのかい…？



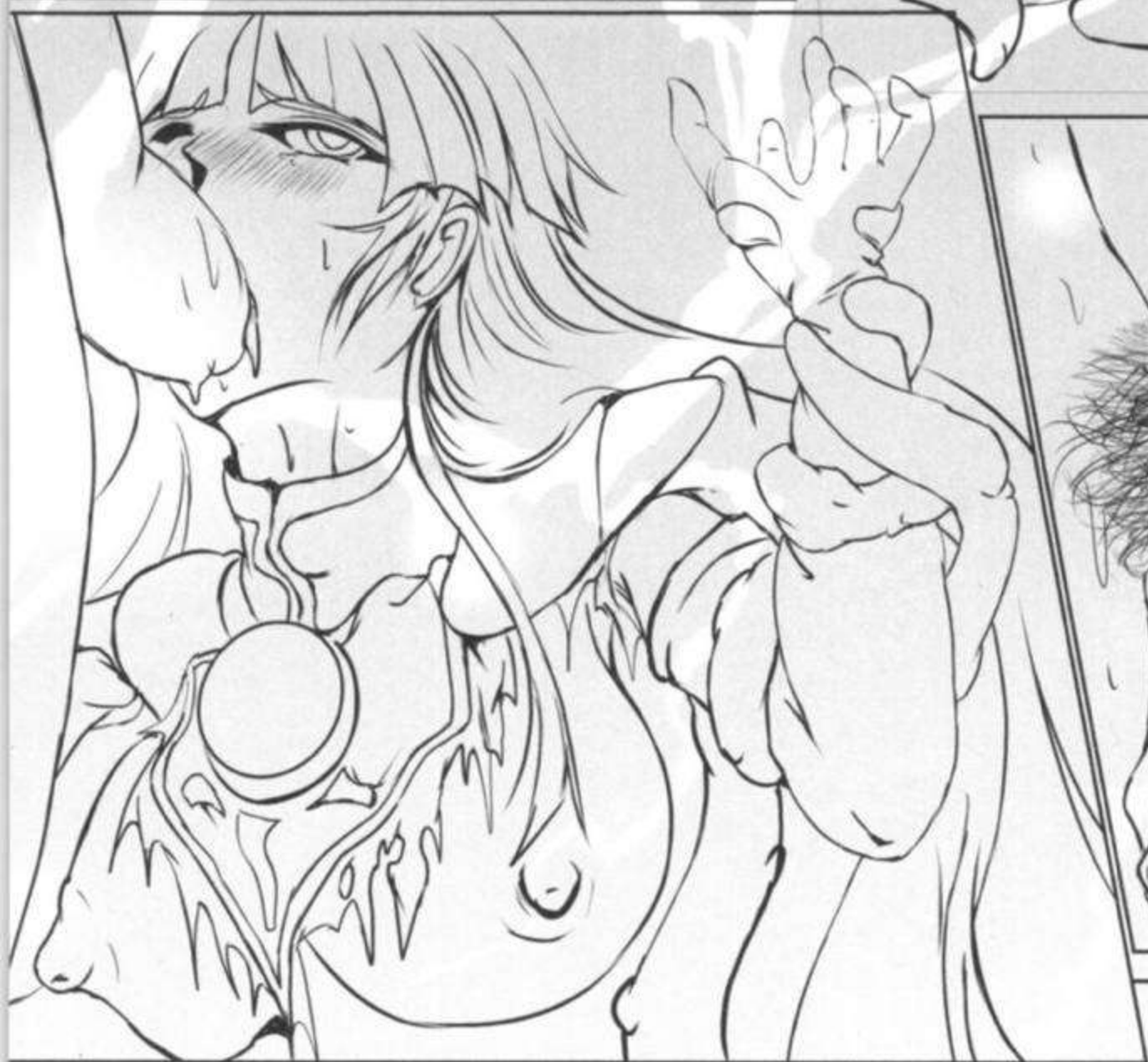
ホントにどスケべお嬢様だなく
ウミは♪

← To be continued !



予告

闇の使徒に身体を織され、醜悪な触手群に弄られ続けてもなお、その心は堕さない海…
われらの青き魔法騎士に迫る卑劣な選択とは!?





C96 発行予定!!



あとがき

まずはサークルバルクラッシュ発行『DARK TEMPEST U ACT-05』お買い上げいただきありがとうございます。

ああ！本来描きたかった部分はこの後なのに。

まだまだ健気に抗う海ちゃんへの卑劣な触手責めは続きます。

闇サイドのトルネオやボルガ達も、新たなマジックナイトが出現する可能性がある以上は海をあっさり殺してしまうわけにはいかないので、そこを避けつつ屈服させるにはどうするか？

P数と工程数がやりたすぎて膨張し、再構成を余儀なくされてしまったので今回はちょっと半端気味な部分で続く…ですが、次回で完結の予定です。

ですが一旦海ちゃんものではあります、これとは違う作品が先になるかも…

何と言っても遙けき過去より待ち続けたレイアースのスパロボ参戦！！

いやー、これはもう描くしかないでしょう！ たとえ大して中身に違いのない触手モノであろうとも！！！！

奥付

DARK TEMPEST U-ACT05

【発行】 バルクラッシュ

【発行者】 SAD

【発行日】 2018年12月31日

【連絡先】 sad001@launchwindow.sakura.ne.jp

【URL】 <http://launchwindow.sakura.ne.jp/>

【pixiv ID】 1054986

【Twitter ID】 SAD_LW

【印刷】 同人誌印刷 **プリントマウス**様 <http://www.print-mouse.com/>

RAF Hawker Tempest Mk I 1942

CAUTION!!

#本作品は成人向けです。18歳未満の方への頒布はお断りさせていただきます。

#本作品の内容はすべてフィクションです。実在の人物、事件、団体等は一切関係ありません。

#本作品の発行によって生じる全ての権利は放棄しておりません。

#スキャン等によるweb上への無断転載、共有ファイルとしての利用はご遠慮ください。

Copyright SAD All rights reserved

No reproduction or republication without written permission.



695 WINTER

BALKLASH.